

先生の病院の IADL 訓練、教えてください！

オンライン説明会に参加いただいた作業療法士の F さんと E さんに、病院での IADL 訓練についてお話をうかがいました。



F さん

N 病院
作業療法士 6 年目
夏休みは子供と一緒に
過ごします！



E さん

A 病院
作業療法士 17 年目
夏休みには、今年こそ家族で
里帰りしたいです！



Q1 先生の病院で行っている IADL の訓練を教えてください。

A1 調理、洗濯、掃除、売店への買い物など、退院時に必要と思われることを訓練しています。



A1 退院前訪問指導（退院前に患者さんと一緒にスタッフが自宅に出向き、動作確認や環境の提案や調整を行うもの）を兼ねた外出、服薬、調理、洗濯、掃除、電話（最近では SNS や通話メールアプリの訓練も行っている）、金銭管理および買い物訓練など幅広く行っています。

Q2 その中でもよく行う IADL 訓練は何ですか？

A2 調理です。
・調理する前に調理の工程や必要な具材の確認を行います。
・実際に調理を行います。
（セラピスト付き添い）
・準備～片付けまで行ってもらいます。

A2 当院で頻度の多い IADL 訓練は、外出訓練です。外出するためには実際の生活の場である住まいから敷地外、隣近所や町内など目的地まで安全に移動する能力が必要です。訪問指導の際に動作を確認し、必要に応じて環境調整や福祉用具の導入などを検討します。また、外出の目的や種類は多岐に渡ります。公共交通機関を利用するのであれば時間の管理や料金を支払う能力、自家用車を使用するのであれば、乗車訓練や運転技能の向上に対する訓練を行います。



Q3 Q2 の訓練で患者さまにはどのような変化が見られますか？

A3 自宅退院に自信がなかった方が、「これだけできたら帰れそうやね」などの言葉が聞かれるようになったり、実際にできなかったことを再認識することができ、これからのリハビリでの具体的な目標ができたりします。

A3 自宅と病院の環境は多くの部分で異なります。退院後はハード面の変化だけではなく、入院中は病棟スタッフの支援であったものが、退院後は家族からの支援に変化するかもしれません。実際の環境を考慮した支援を行うことで、患者さん自身ができる事または難しいことに気付くことができます。在宅生活の具体的なイメージが得られることで、患者さんのモチベーションの向上に繋がります。

Q4 コロナ禍でできなくなった（中止している）IADL 訓練はありますか？

A4 特に院内で行う訓練は中止しているものはありませんが、外出や外泊などが困難になっており、実際の環境で動作練習を行うことが難しくなっています。

A4 現在中止している IADL 訓練は特にありませんが、家族を交えた IADL 訓練は積極的に行えていません。例えば、調理訓練の際に患者さんが得意料理をこしらえ、家族にふるまうなどの事がコロナウイルス感染症の影響で行えていません。調理訓練で再び料理をできたことが患者さん本人のモチベーションの向上に繋がりに、更に家族も患者さんの回復を感じることができると、患者さん、家族双方にとって精神的な安定に繋がります。

